

万が一に備えて春季火災訓練

元消防団員 故森田司さんに感謝状が贈られる

四月五日、厚真消防団と消防署厚真支署による春季合同模擬火災訓練が、厚真リハビリセンターで施設の入居者、利用者、職員などが参加して行なわれました。

訓練は、一階厨房室から出火、内部に延焼し二階の入居者一人が逃げ遅れるという想定。通報の数分後、団員・消防職員八十三人、高所放水車など消防車両十一台が到着し、本番さながらの消火作業、救助作業を行ないました。閉会式では、尾谷消防長から「訓練は総体的に良好。万が一の災害に備え、人命救助を最優先とし今後も一層の訓練が必要」と講評がありました。また、二十年以上にわたり消防団員として活躍された、元消防団員故森田司さんに藤原消防組合管理者から感謝状が贈られ、父親の正司さんに手渡されました。



高所放水車で救助される入居者(中央) 故森田司さんに感謝状贈呈(右上)

痛くないワン！ 町内各所で狂犬病予防注射

4月12日から17日にわたり、町内35カ所で狂犬病予防注射が行なわれました。

飼い主は、生後91日以上の子犬であれば、毎年狂犬病の予防注射をしなければならない義務があり、この期間に441頭の犬に注射がされました。

家畜獣医師などにより、手際よく注射をされていましたが、なかには注射を怖がる犬もいて、飼い主がしっかりと愛犬を押さえている姿が見られました。



ほく注射は平気。痛くないワン！

色とりどりのこいのぼりが青空を泳ぐ



子どもの健やかな成長を願い 71匹のこいのぼりを掲揚

上厚真パークゴルフ場に、4月19日、71匹のこいのぼりが厚真ライオンズクラブ(大岩滋雄会長)の会員により青空に揚げられました。

子どもたちの健やかな成長を願い、会員たちが心を込めて100mにおよぶワイヤーにこいのぼりを取り付け、掲揚しました。ライオンズクラブでは、今後の掲揚のために町民の皆さんから不用になったこいのぼりの提供を受け付けています。

連絡先は、同クラブ事務局の矢幅さん(27-2155)まで。

厚真中学校(高橋啓夫校長)の3年生が、4月20日、修学旅行で姉妹都市前沢町を訪れて「牛の博物館」などを見学しました。

訪問では、伊藤前沢町長から特産品の前沢牛や来年2月に市町村合併し前沢町が奥州市前沢区になるなどの話がありました。

訪問した森田美香さんは「訪問はいい思い出になった。町長さんがいろいろな事を教えてくれ、今後もずっと姉妹都市であってほしい」と話していました。

厚中三年生が修学旅行で前沢町訪問



町商工会女性部(三國和江会長)が、このほど、日本赤十字厚真分区分区を通してスマトラ沖地震救援金と福岡県西方沖災害義援金を寄付しました。

義援金などは、3月にスポーツセンターで行なわれた少年サッカー大会で出店した際の収益金の一部。

三國会長は、厚真分区分長藤原町長に「災害で被害に遭った人たちの地域の復興に役立ててください」と言葉を添えて義援金などを手渡しました。

商工会女性部が地震被害地へ義援金を寄付



堀薫さん(厚和)に厚生労働大臣特別表彰

堀薫さん(厚和・七十三歳)に、厚生労働大臣特別表彰と全国民生委員児童委員連合会から感謝状が贈られ、四月二十七日に総合ケアセンターで畑嶋助役から伝達されました。昭和五十五年から平成十六年まで二十四年間にわたり、民生委員児童委員として地域の福祉問題に積極的に取り組んだことが評価されての表彰です。堀さんは「地域に恵まれ、大きな問題はなかったが、特に地震などの災害の際に、地域の独居老人などの弱者に気をくばってきた」と振り返っていました。



畑嶋助役から感謝状を伝達される堀さん(右)



「気持ちよく登校してね」
建設協会が道路清掃奉仕

四月六日、厚真建設協会(久保彦彦会長)が厚真市街地と上厚真市街地周辺の幹線道路などを清掃しました。

新一年生など子どもたちが気持ちよく登校できるようにと、冬期間にたまった砂やゴミなど、竹ぼうきやスコップを使い各班に分かれて作業しました。散水車や回転ブラシの付いた作業車も出動し、見違えるようにきれいに清掃された道路は、子どもたちの元気な登校を待ちかねているようでした。



久保巖さん(上厚真)が元気なおじいちゃんとして放映

NHK札幌放送局の番組「ほくほくテレビ」の地域の元気なおじいちゃん、おばあちゃんを取り上げる特集で、久保巖さん(上厚真・八十二歳)が取材を受け、四月十八日放送されました。

三月末、森本アナウンサーなどが自宅を訪れ、久保さんの発明した厚紙を材料として製作した補聴器、趣味の水彩画やハーモニカなど、約一時間半にわたって取材し、放送では十五分間、久保さんの元気な姿がテレビで放映されました。